

## 5 . 偉大な勇者の娘たち (ティンギアン - 北)

時代のはじめ、北部フィリピンは、偉大な勇者アニトによって支配されていました。アニトは、大変妻を欲しがり、神々に美しい娘を送ってくれるように祈りました。彼の祈りはすぐに応えられ、神々は美しいゾラヤを彼の妻として送ってやりました。

すぐにゾラヤはマバカと呼ばれる美しい娘を産みました。それから長く時間をおかず、ゾラヤはもうふたりの娘を産み、ピノンガン、とアダシンという名前と呼ばれるようになりました。ゾラヤは大変幸福で、彼女の全生活を、三人の美しい娘を育てることに費やし、彼女らは母を大変愛していました。

多くの年が過ぎて、ゾラヤと彼女の三人の娘は、共に幸せな生活をおくり、お互いのために尽くし合いました。しかし、ある日、ゾラヤは大変年老いて、病気になり、床につくことになりました。彼女は三人の娘を枕元に呼んで、彼女が近く死ぬであろうことを告げました。娘たちは大変悲しくなりました。娘たちを元気づけるために、ゾラヤは、各々娘に特別な贈り物をしました。そして、それらの贈り物は、常に、彼女や一緒に暮らした幸せな日々を思い出させるものになるはずでした。マバカには横笛、ピノンガンには鼻笛、アダシンにはバイオリンを与えました。そして、その日ゾラヤは死んで、彼女の魂は、永遠に天に帰りました。ゾラヤの夫アニトは、悲嘆にくれました。

マバカ、ピノンガン、そしてアダシンは、死んだ、愛する母のことで、大変悲しみました。そして、何ヶ月もずっと彼女らの庭に留まって、それぞれの楽器をかなで、深い悲しみに打ち勝とうとしていました。しかし、それは決してよくなかったのです。いくらマバカが横笛を吹いても、ピノンガンが鼻笛を吹いても、アダシンなバイオリンを弾いても、愛する母の死を乗り越えることはできませんでした。

ついに三人の娘は、母と一緒に育った地に留まることは、悲しみを重ねるだけだとわかり、そのフィリピンの神話と伝説

地を離れて、別々の所へ行く決心をしました。そして悲しむ父アニトに別れを告げ、唯一知っている地を出て行きました。マバカは遠い北へ行き、その地の人々と定住しました。人々は、すぐに彼女の名から、マバカ族として知られるようになりました。ピノンガンは遠い西へ行って定住し、農民になりました。すぐに西の人々は、この美しいゾラヤの娘の名から、自分たちを、ピノンガン族と呼ぶようになりました。アダシンは遠い南へ行き、西へ行った姉と同様、定住して農民になりました。彼女の民も名前からとって、アダシン族として知られるようになりました。年を経て、これらは、その土地のもっとも有力な部族になって行きました。

そうしているうちに、故郷に帰った偉大なアニトは、まだ美しい妻ゾラヤと三人の美しい娘を失ったことを悲しんでいました。今や彼の家には家族はなく、アニトは何年も忠実に仕えている女中エンシャンに、もうこれ以上仕えることは求めないで、自由になって出て、南にある家に帰るように告げました。彼女の忠誠に対する別れの贈り物に、偉大なアニトは、エンシャンに美しい金のネックレスを与えました。幸せなエンシャンは、主人に礼を言い、鞆をつめて、南にある彼女の家へ出発しました。

しかし、エンシャンが家に帰る長い旅の途中、彼女は南の田んぼを歩いている間に、金のネックレスを失いました。金のネックレスは、アダシン族の田んぼで働く老いた女性に見つけられました。その老女は、村の人々の所へ持って行き、彼らが金のネックレスに掘られている偉大なアニトの印を見た時、彼に感謝し、彼の誉れのため、大宴会をして、それによって、彼らを豊にしてくれたことを祝いました。

偉大なアニトの金のネックレスの祝福の祭りの知らせは、周りの部族にも聞こえて来ました。マバカ族は、すぐに南どなりの部族を金のネックレスのことで、羨ましく思うようになりました。そして欲深いマバカ族は、アニトの金のネックレスを奪って、自分たちのものにするために、アダ

シンと戦争を起こしました。彼らは獰猛にアダシン族を何度も襲い、どちらもたくさんの命を失いました。しかし、マバカ族は、欲深さのために、金のネックレスを諦める気にはなれませんでした。そして、血生臭い戦いは、何度も続いたのです。

マバカ族とアダシン族の間の戦いが激しくなるので、西のピノンガン族出身の賢い老人が、ふたつの部族の間の戦いをやめさせ、無駄な殺戮を終わらせようと、仲裁する決断をしました。その賢い老人は、ピノンガン族から来て、二つの勇ましいマバカ族とアダシン族に武器を置いて、平和な話し合いをするように、取り計らいました。そして、マバカとアドシンとピノンガンのそれぞれの指導者が一緒に会い、戦いを終わらせるように決めました。

平和の話し合いの用意された日、三人の指導者は、偉大なアニトの金のネックレスをめぐる議論を解決するために、そこに腰を下ろしました。三人の指導者は、お互いを見て、ビックリしました。それは三人の姉妹、マバカ、アダシン、ピノンガン……偉大な勇者アニトの娘たちだったのです。三人の姉妹は、長い間分かれていたので、久しぶりの再会を喜びました。三人の部族の村人たちは、自分たちが偉大な勇者アニトの娘たちの子孫であり、兄弟、姉妹であることを悟ると、彼らは武器を下ろして、お互いの中で、もう戦わないことを誓い合いました。マバカ、アドシン、ピノンガンは、父の金のネックレスを、三つの部族で平等に分けました。

偉大な勇者アニトの三人の娘の部族は、それ以来みんな幸せに暮らし、人々がたとえ戦っても、常に、常に戦いをやめ、平和に、調和と反映をすべて我々の隣人と分かち合うことができる道があることを証明して、いまだにこの特別な日を記念している。